



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

長野県 長野市立中条中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。

※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上の調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：星瑞枝先生（スキー／アルペン）【出場オリンピック／トリノ2006冬季大会】

■ **期 日**：2024年9月11日（水）

■ **ク ラ ス**：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・トリノ2006冬季大会にスキー／アルペン競技で出場したと自己紹介。オリンピズムとは、スポーツを通じて心身を向上させ、文化や国籍の違いを越えて世界平和に貢献していくという考えである。それを支えるオリンピックバリューについて、エクセレンスは全力で取り組む、ベストを尽くす、フレンドシップは仲間と協力する、チームワークを大切に、リスペクトはフェアプレー、ルールを守ると紹介。準備体操の後、班毎に分かれラダートレーニングを実施。

○主運動等



・1つ目の主運動は人間スラロームターンを実施(全3回)。班毎に1人ずつ走り、2.5m間隔の床のマークに合わせて手前から順番に座っていく。先に座った人の横をジグザグに走り抜けて、次のマークの位置に座る。最後の人が座ったら、最初に座った人から立ち上がって走り、全員がゴールするまでのタイムを競う。2つ目の主運動はスラロームターンリレーを実施(全4回)。等間隔に置かれたマーカーの横を1人ずつジグザグに走ってリレーを行い、最終走者がゴールするまでの順位とタイムを競う。各回の実施前に作戦タイムを設け、走順や走者交替の方法をチームで話し合いながら実施。



・運動の時間を振り返り、皆が全力で取り組んでいたことや、協力してチームワークを大切にしていたこと、慣れない動きやルールを守ってフェアプレーを心掛けていたことは、オリンピックバリューに当てはまる。順位を競っていたが、頑張った自分やチームの仲間を褒める気持ちを大切にしてほしい。座学の時間では、自分の競技経験を紹介しながらオリンピズムやオリンピックバリューについて一緒にさらに深く考えていきたいと伝え、授業終了。

■オリンピック：星瑞枝先生（スキー／アルペン）【出場オリンピック／トリノ2006冬季大会】

■期 日：2024年9月11日(水)

■ク ラ ス：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながら、スキー／アルペン競技で使用したレーススーツを紹介。オリンピックシンボルの5つの輪は5大陸を表しており、文化や国籍の違いを乗り越えるのがオリンピズムである。競技人生における様々な経験を織り交ぜながら、オリンピックバリューについて紹介。皆も今の自分の状況を当たり前のものと思わずに、周囲で支えてくれている人たちへの感謝の気持ちや、諦めずに全力を尽くすこと等を常に考えてほしい。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：日常生活や学校生活(合唱コンクール、部活動等)での目標達成に向けどんなことをするべきかを、オリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：エクセレンス：「練習に全力で取り組んだ」「音程、声の大きさ等の基本を大切にする」等

フレンドシップ：「チームワークを大切にする」「練習で協力する」等

リスペクト：「兄を尊敬」「フェアプレーを心掛けて試合に臨む」「上手く演奏できたらお互いに称え合う」等



・座学の時間を振り返り、短時間のグループワークの中でも、日常生活にはオリンピックバリューに当てはまることが多いと感じられたと思う。これから皆がチャレンジしていく様々な経験は自分の糧になっていく。自分も幼少期からスキーを続けてきたことによって、今ここで皆と話をすることができた。今後は色々な場面で今日学んだオリンピックバリューを活かしながら、自分の目標に向かって一歩ずつ歩いてほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

